

ウィンド型エアコンの火災

火災概要

一般住宅の2階居室の窓に設置されたウインドタイプのエアコンから出火し、エアコンのみが焼損した火災です。出火時に家人がその居室で寝ており、「キュ、キュ、キュ」という音とともに、クーラー左側上部から煙が出ているのを見つけました。そして、台所へ水を汲みに行き、その煙が出ているところへ掛けた後に、エアコンから5～6cm幅の炎が出てきたので、大声で家族に知らせました。もう一度水を汲みに行き、戻って来た時にはエアコンが床に落ちており、水を掛け、初期消火に成功しました。この火災による死傷者等は発生していません。



焼損した
ナショナルエアコン
CW-165DS



エアコン内部の焼損状況



制御基盤の状況



リレーの状況

原因概要

鑑識を実施したところ、制御基板のリレー部分に焼損が認められ、その部位をテスターで確認すると導通が認められ、雨水等が本体内に入り制御基板のリレー部分でトラッキングが発生し火災に至ったものと判定しました。

類似火災の防止対策

当該機種は、製造会社の松下電器産業(株)（現：パナソニック(株)）が**発煙・発火の恐れがあるということで、社告を出し、改修を進めています。**発売から13年～21年が経過しており、既に廃棄されたものも多数あると思われませんが、現在、まだ多くの未改修エアコンが市場にあります。ナショナルウインド型エアコンをお使いの方は、該当機種であるかを確認し、万一該当機種であった場合は使用を止め、コンセントよりプラグを抜いて、早急にパナソニック(株)に連絡してください。

・・・**火災が発生した場合は、直ぐに消防(119)へ通報してください。**・・・

いま一度のご確認です 点検はお済みでしょうか **下記ナショナル製品を探しています**
対象品番の製品を既に廃棄されているお客様も大変お手数ですが、下記フリーダイヤルまでご連絡ください

無料にて点検・処置をさせていただきます

これらの製品は平成12年12月3日に
新聞謹告をさせていただきました

冷房専用タテ型エアコン

雨水や結露水が電気部品に浸入して、
発煙・発火に至るおそれがあります

品番表示箇所(ルーバー開状態の操作スイッチ上部と右側面)

写真はC W I C 1 6 A S I X B



XB

-XBベージュ
-Hグレー
-Wホワイト

品番 **CW-145DS-W**
CW-145DS-H
CW-165DS-W
CW-165DS-H
CW-C16AS-W
CW-C16AS-XB
CW-C18AS-W
CW-C18AS-XB

※製品のデザイン、色は、お持ちの機種により異なります

1988年(昭和63年)
～1992年(平成4年)製

品番表示箇所(ルーバー開状態の操作スイッチ上部と右側面)

写真はC W I C 1 6 F S I W



W

-Wホワイト
-Cベージュ

品番 **CW-C16FS-W**
CW-C16FS-C
CW-C18FS-W
CW-C18FS-C

※製品のデザイン、色は、お持ちの機種により異なります

1993年(平成5年)
～1996年(平成8年)製

(冷房専用タテ型エアコン専用)

フリーダイヤル電話 0120-878-570

冷房専用タテ型エアコン市場対策室
受付時間:9時～17時(土・日・祝日を除く)

本件につきましては、下記ホームページでもお知らせしています
<http://panasonic.co.jp/ha/s/aircon/>

品番をご確認のうえ、上記フリーダイヤルまたは
ご購入販売店までご連絡をよろしくお願いいたします

大変ご迷惑をおかけしております 謹んで深くお詫び申し上げます

パナソニック株式会社(旧社名:松下電器産業株式会社) ホームアプライアンス社

〒525-8555 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-2号

お客様からご提供いただきました氏名・住所・電話番号などの「個人情報」は、当該製品の点検と上記処置目的以外には使用いたしません